

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 心友会 しいのみ園 ともほんだ		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 13日		～ R6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	R6年 11月 13日		～ R6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	保護者と定期的に面談を行い、子どもの成長や発達について話し合います。家族の悩みや不安を聞き、適切な助言や支援を提供している	面談後のフォローアップを行い、設定した目標に対する進捗を確認する。 保護者との継続的なコミュニケーションを保ち、必要な支援を提供する。
2	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	事例の収集、分析、共有、対策の実施、フォローアップを行い、職員間で取り組んでいる。	ヒヤリハットの報告を奨励し、スタッフが気軽に報告できる雰囲気を作っている。 報告者を称賛し、ヒヤリハットの活用が組織全体で共有される文化を醸成を行っている。
3	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	月に1度の会議を設定し、職員同士が気軽に意見交換できるように努めている。また、その際には利用者の個別支援計画、モニタリング等の利用者のことについても共有している。	準備の徹底に努め、必要な資料や情報を事前に収集し、参加者に共有する。各参加者が準備をして会議に臨むことで、より深い議論ができるように努めている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか	SNSの使い方がわからない、アカウントの作成や管理が難しい。プライバシーやセキュリティのリスクが心配	スタッフに対してSNSの使用方法に関するトレーニングを提供し、技術サポートを受ける。 プライバシーポリシーを明確にし、投稿する内容や情報の取り扱いに注意する。また、適切なセキュリティ対策を講じる。
2	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされているか	従業員の認識不足、緊急時対応の重要性が従業員に十分教育されていないため、対応手順についての理解不足が原因だと思われる。	責任者と連絡体制の明確化、緊急時対応の責任者を明確にし、連絡手順を整理する。 連絡網や緊急連絡先リストを最新の状態に保つ。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	災害発生、定期的な避難訓練等を行っているが、保護者と共有していない。	実際の災害時を想定した、引き渡し訓練や、災害備品の共有、アンケートを取る等して、保護者ニーズの把握が必要。